

嘘と真実の仕分け作業

2013年6月7日 アシェル・イントレータ

この世が悪で満ちているその原因は、人が嘘を信じるからです。イエシュア(イエス様)は永遠の敵、サタンを「偽りの父」(ヨハネ 8:44)と呼んでいます。真実が本来、より論理的、健全で、道徳的なものであるなら、なぜ人は偽りを信じるのでしょうか。簡単に言うと、偽りの情報が繰返されることにより、人は確信し、納得してしまいます。ひとつの嘘を何回も繰返していると、最後には本当のこととして信じてしまうのです。

嘘には2種類のつき方があります。何か本来良いことを、悪いように伝える場合と、何か悪いことを、良いように伝える場合です。現代のメディア操作テクニックのひとつとして、ある政治家に何か都合の悪いことが起こった場合でも、彼はそのことがあたかも彼自身の勝利であるかのような発表をします。また彼の政敵が成功を収めた場合も、さも自分の功績のようにしてしまうのです。

嘘とは良いことを悪く言うか、悪いことを良く言うかです。偽りは真実を別のもので包み、本来のことと反対であるように見せることです。サタンも光の御使いのふりをするのです(II コリント 11:14)。

イザヤ 5:20

ああ。悪を善、善を悪と言っている者たち。彼らはやみを光、光をやみとし、苦みを甘み、甘みを苦みとしている。

最近の小説で、クリスチャンユースキャンプのリーダーを務める、ある夫婦が実は連続殺人犯だったというものがありません。これは良いものを、悪いように見せているケースです。クリスチャンは悪いものだという暗示を与えているのです。

イスラムジハードとなるため何年間も教え込まれてきたテロリストたちは、メディアによって「問題を抱えた若者」と表現され、イスラムと接点がないかのようにされています。イスラムのテロリストたちは非イスラムの包装がされているのです。

性的不品行(不貞、売春、ホモセクシュアル、レズビアン、サド・マゾ含む)はエンターテインメント界では、ロマンチックで、ワクワクさせ、芸術的で、楽しいものとして表現されており、夫婦間、親子の健全な関係や正常な家族生活は、不健康で、閉塞的で、つまらなく、非創造的なものとして描かれます。

良いものを悪いように、また悪いものを良いようにパッケージされているものに洗脳されないよう、気をつけましょう。

メシアニック・キブツでの突破口

アイエレット・ロネン事務局長

ヤッド・ハシュモナはイスラエルで唯一のメシアニック・キブツで、エルサレム郊外のユダヤ丘陵地に位置しています。現在のメンバーは 20 世帯(投票権のある大人 35 人)くらいです。しかし今週、創設以来はじめて、その規模とビジョンをかなり拡大するための投票が、キブツで行なわれました。

キブツに受入れられた新メンバーは 50 人。全員がイスラエル国籍をもつ地元のメシアニック信者です。この増加によって、道路、家、子供たち向けの施設や、相当な規模のインフラ整備建設プログラムが求められています。

その計画を私たちが引き継いでいく恵みを神様が与えてくださるなら、イスラエルの真ん中に、前例のない活きているメシアニックコミュニティが出来ることとなるのです。現実的で霊的な実が急激に結ばれていくでしょう。皆様の祈りと支援が必要です。インターネットで私たちのホームページをご覧になるには、こちらを[クリック](#)してください(英語)。マイホームを建てたいと希望する若い家族のための経済的援助は、リバイブ・イスラエル・ミニストリーにお問い合わせください。

終わりの時の預言についての逐語的な解説

ホリー・ワレスと共著

終わりの時の預言はイスラエルと関連があります。それはイエシュアが、イスラエルに再臨されるからです。過去 2000 年間、イスラエルの国は破壊され、民族は散り散りになりました。それにより、この預言を字義通り受取るとは難しいように見えました。多くの「天的な」教義(解釈)は、土臭く歴史的な現実から切り離された、ただ神秘的で比喩的なものです。

それでも今日、ユダヤ人たちが再び集められ、国家は再建され、これらの預言が字義通り、物理的に実現することが、よりはっきりと明らかになってきています。イエシュアは再臨されます。国々はイスラエルを攻撃し、死人が起こされ、聖徒は天に引き挙げられ、御国はエルサレムに据えられ、そしてエデンが地上に再建されます。

この預言について、上記のように理解した人も確かにいました。有名な物理学者アイザック・ニュートン(1642 - 1747)は「終わりの時については、多数の怒号や反対意見のただ中であって、預言に注目し、字義的な理解に一貫する一団の人々は引き上げられる」と述べています。

そうです。実際に本当に起こることなのです。そしてそのことが起こると敢えて信じる人々は、論争や反対意見の対象となるのです。少なくともアイザック・ニュートンはそう考えたのです。

米国 Tikkun 聖会

先週、Tikkun アメリカ指導者聖会で意義深い時を過ごしました。聖会と日曜日のインマヌエル教会にて、アシェル・イントレータとポール・ウィルバーは共に、聖霊に導かれたチームワークによる 4 回のワーシップ、預言とメッセージの奉仕にあたる機会が与えられました。

Tikkun アメリカは、ダン・ジャスターに率いられた 20 ものメシアニックCongregationからなるネットワークです。アシェルとポールの奉仕の他、聖会ではダン・ジャスター、ドン・フィント、トロイ・ワレスによるメインセッションを含む様々なセミナーやメッセージが展開されました。主の終わりの時における役割を、それぞれの指導者は分与されました。各Congregationは、アメリカとイスラエルのメシアニックJew運動の親密な関係についての新しいビジョンを受け取りました。

インマヌエル教会の私たちの同胞は、(キリストの)からだにある多様性の中の美しさ、そして現在世界中の主のからだにあって発生している大きな流れのビジョンについてのメッセージで力づけられました。多くの人がリフレッシュされ、悔い改め、また初めてイエシュアを主として知ることができた人々も起こされました。ここに紹介したメッセージ CD のご注文はこちらを[クリック](#)。